

身近な脳の病気「認知症」

お問合せ

保健福祉課 地域包括支援係 ☎ 0172 - 55 - 6569

2040年には65歳以上の約4人に1人が認知症を発症と言われています。

「あれ？ちょっと変だな」は認知症のサインかも



身なりを気に
しなくなった



今まで好きな
ことへの興味
がなくなった



以前よりもひ
どく怒りっぽ
くなった



ものの名前
が出てこな
くなった



外出や人と会う
ことがおっくう
になった



家事や仕事
ができなくな
って来た

このような行動が見られたら認知症の可能性あります。早めにご相談ください。

まずは
かかりつけ医に
相談



認知症は早期発見が肝心

早期発見のメリット

その1

早期に治療を開始することで認知機能の回復・維持が期待できる。



その2

進行を緩やかにし、生活の質を良い状態で保つことができる。



その3

事前に本人の意思を反映した様々な準備ができる。

上手に受診するために

○医師に伝えたいことは事前に書き留めておくこと。

いつから変化があったか、日や時間帯で症状が偏るか、既往歴・飲んでいる薬 など

○本人が受診をためらう場合は表現を工夫して受診のハードルを下げる。

「健康チェックに行こう」「何かの病気かもしれないから検査してみましょう」 など

認知症初期集中支援チームによるサポートを受けることもできます。

【サポート内容】

- ・認知症についての相談支援
- ・チーム員がご自宅を訪問し、安心して暮らすためのサポート
- チーム員：専門医、保健師、主任介護支援専門員、社会福祉士